

(4) 防災安全科の内容

育てたい資質・能力の設定で出された具体的な内容を整理し、防災安全科の内容及び学年部の内容として設定した。

内容		高学年	中学年	低学年
ア) 災害の種類や原因等の理解に関すること	① 災害の種類や原因	自然災害の種類や現象, 原因を理解する。	自然災害の種類と特徴を理解する。	自然災害の種類を理解する。
	② 発生メカニズム	災害発生メカニズムを理解する。	※なし	※なし
	③ 地域特性と災害	全国各地で起こりやすい災害を理解する。	市や県で起こりやすい災害を理解する。	※なし
	④ 過去の災害と伝承	過去の災害の様子や地域に残る災害の伝承を知る。	東日本大震災の被害や地域で起きた過去の災害の様子を知る。	※なし
	⑤ 畏敬の念	自然に対する畏敬の念を持つ。	自然と人との関わりについて理解する。	※なし (自然のよさと怖さを理解する。)
	⑥ ライフラインの重要性	ライフラインの重要性を理解する。	※なし	※なし
	⑦ 自治体の取組	防災や復興のため, 自治体や民間等の取組を理解する。	※なし	※なし
イ) 学校や家庭における日常の備えに関すること	① 災害の教訓	災害(東日本大震災)の経験を教訓として生かそうとする。	※なし	※なし
	② 危険箇所や施設等	地域を調べて, 危険箇所や防災に役立つ施設等を知る。(防災マップ高学年)	地域を調べて, 危険箇所や防災に役立つ施設等を知る。(防災マップ中学年)	自分の身の回りの危険箇所や子ども110番の店等を知る。(防災マップ低学年)
	③ 家や学校での備え	学校や地域の防災対策を考えて, 日常の備えを行う。	家族とともに家庭での防災対策を考えて, 日常の備えを行う。	防災用具の中身を知り, 使い方を身に付ける。

	④ 危険の予測	災害時に起こる現象から危険を予測・認識する。	学校や家庭，地域の危険を予測する。	※なし
ウ) 危険から命を守る方法に関すること	① 冷静な行動と強い心	困難に直面しても負けない強い心を持つ。	困ったときにも投げ出さないうで行動する。	大人の指示をよく聞いて行動する。
	② 助けの求め方	状況に応じて助けを求める方法を身に付ける。	緊急時の通報の仕方や助けを求める方法を身に付ける。	近くの大人に助けを呼ぶことができる。
	③ 状況に応じた避難	状況に応じた避難方法を身に付け，他の人とともに避難することができる。	状況に応じた避難の仕方を知り，自分で安全に避難することができる。	大人の指示に従って安全に避難することができる。
	④ 応急措置	初歩的な応急措置やAED等の操作方法を身に付ける。	簡単なけがの応急措置を身に付ける。	※なし
	⑤ 生き抜く知恵と技能	ライフラインが止まったときの対処法を身に付ける。	※なし	※なし
	⑥ 安全の確保	災害から身を守り，安全を確保する方法を身に付ける。	災害から身を守る方法を身に付ける。	災害から身を守る方法を知る。
エ) 情報の収集や伝達の方法に関すること	① 心の変化	災害時の心の変化を理解し，どう行動するかを考える。	災害に遭ったときに心の動きがどうなるかを理解する。	※なし
	② 情報収集	状況に応じて的確に情報を得る方法を身に付ける。	情報を得る手段を知る。	※なし
	③ 情報の特性	情報の特性を知り，災害時に様々な情報とどう向き合うかを考える。	※なし	※なし
	④ 情報伝達と活用	情報をやりとりする方法を知り，活用することができる。	家族と連絡を取り合う方法を身に付ける。	自分の住所や電話番号等の情報を伝えることができる。
オ) 感謝や思い	① 基本的な	※なし	※なし	自分でできることは自分で行おうとす

やりの 心に関 するこ と	生活習慣			る。
	② 感謝や思 いやり	感謝の気持ち表現し、思いやりの心を持って接しようとする。	お世話になっている地域の方に感謝の気持ちを持つ。	お世話になっている地域の方に感謝の気持ちを持つ。
	③ 自然愛護 と生命尊 重	自然を愛し、自他の生命を尊重しようとする。	生命のつながりを感じて、自分の命を大切にしようとする。	自然を大切にしようとする気持ちを持つ。
	④ 被災者支 援	支援を必要としている人の気持ちを考えて行動しようとする。	※なし	※なし
	⑤ 夢や希望	自分の生き方やこれからの社会を考え、将来に夢や希望を持つ。	地域を元気にする活動を考えて行動しようとする。	※なし
カ) 地域 の人と の積極 的なか かわり に関す ること	① コミュニ ケーショ ン	互いのよさを認め合い、コミュニケーションを取ろうとする。	互いのよさを認め合い、コミュニケーションを取ろうとする。	他の人と協力し合っ て行動しようとする。
	② 地域の活 動	地域の活動に参加しようとする。	地域の方と積極的にかかわろうとする。	地域の方と交流しようとする。
	③ 被災体験 の伝承	震災の教訓を伝えることで、社会に役立つようとする。	※なし	※なし
	④ ボランテ ィア活動	復興のために尽力している人々の努力を知り、自分たちにできることを考えようとする。	復興のために尽力している人々の努力を知り、自分たちにできることを考えようとする。	※なし
	⑤ 避難所で の行動	避難所の仕組みを知り、自分たちにできることを考えようとする。	※なし	※なし
	⑥ 学校や地 域での実	防災・復興のために学校や地域に役立つことを考えて、行動	防災・復興のために自分たちにできることを考えて、行動し	※なし

	践	しようとする。	ようとする。	
--	---	---------	--------	--

防災安全科の内容及び学年部の内容は，次年度において授業実践を行いながら検討していくこととする。